

日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2019.3.21 No.330

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp



高過ぎる国民健康保険料 来年度も値上げ...

値上げ中止を！負担軽減を提案

■均等割額（介護分含む）の推移

2002年度	2007年度	2012年度	2019年度
35,100円	47,100円	54,300円	67,800円

■国保料9年間の負担増（区の資料より）

	年収300万円40歳 夫婦・子ども1人	年収400万円40歳 夫婦・子ども1人
2010年度	173,172円	249,372円
2019年度	366,993円	450,391円
増額分	+193,781円	+201,019円

区議会第一回定例会では、来年度の国民健康保険料率の改定議案が提案されました。党区議団は、来年度からの値上げの中止を求めました。

**均等割額17年連続値上げ
多人数・低所得世帯が負担増**

保険料のうち、所得に関わらず世帯人数に応じて課せられる均等割額は1200円値上げされ、6万7800円となります（左表）。

均等割額の値上げは、単年度で見れば1200円ですが、2002年度以降、17年連続の引き上げです。

さらに、均等割額は、多人数や低所得世帯ほど値上げ幅が大きく、負担増が深刻になります。

質疑では区も、その問題点を認めました。

法定外繰入は継続できる 追及に杉並区も認める

保険料の負担緩和のために行われている一般会計からの法定外繰入について、区は、国や都の方針に従い段階的縮小・廃止を進めています。

■国保料値上げに関する議案について各会派の賛否

会派	自民	公明	平和	共産	自無	未来	立憲	杉わ	美杉	無	維新	す自
国保料値上げに関する議案	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○

※平和（社民党、ネット議員が所属）未来（国民民主党議員が所属）自無（自民党議員が所属）

一方、党区議団は「国の公式見解として、繰入は各自自治体の判断に委ねられている」ことを指摘。区も「法的な縛りはない」と答え、繰入の継続は可能であることを認めました。一方、段階的縮小・廃止を進めるという姿勢に固執したことは問題です。

**他会派は値上げを容認
値上げ中止迫る党区議団**

質疑のなかで、来年度保険料を値上げせず据え置いた場合の経費は、4億4千万円であることが明らかになりました。

来年度、区は歳入全体で92億円程度の増収を見込んでいます。この増額分の内、4・8%を回すだけで、来年度の値上げを抑えることが出来ます。

質疑では、歳入増額分を活用し、来年度の保険料値上げの抑制を提案。国保制度は社会保障制度であり、これ以上の保険料の引き上げを中止し、引き下げの努力をすべきであることを求めました。

しかし、自民・公明等の他会派は値上げを容認。値上げ議案を賛成多数で可決したことは重大な問題です。

引き続き、保険料引き下げに向けて論戦に臨みます。

高齢者施策の拡充を求め論戦

主な予算減額、廃止事業

- まちの湯ふれあい入浴（減額）
- 高齢者住宅改修助成（減額）
- 高齢者緊急ショートステイ（減額）
- 配食見守りサービス（廃止）

■見守り配食サービス対象厳格化
利用者数が半減する事態に…

	2012年度	2013年度
利用者数	983人	464人

高齢者施策の拡充を求め、予算特別委員会で質疑。



区議会予算特別委員会で、高齢者福祉の拡充を求めて質問に立ちました。来年度から高齢者見守り配食サービスを廃止する方針が示されました。同事業は高齢者への配食サービスと一体に声掛け等の見守りを実施するもので、高齢者の在宅生活をサポートする上でも重要な施策です。

一方、杉並区は対象者の厳格化により、利用を制約。2013年度時、見守り体制の効率化という方針により、配食と見守りを切り離し、対象を狭めた結果、利用者数が半減する事態となっています（左上表）。さらに、廃止が決定する前の2017年度から利用者の新規受付を中止しています。

23区中17区が実施 杉並は逆行…

高齢者見守り配食サービスが廃止

区の制約により利用者数を大幅に減少させ、事業を廃止させたことは重大です。

23区では17区が見守り配食サービスを実施しており、区の事業廃止は、他区の動向に逆行するものであり許されません。

引き続き、高齢者の在宅生活を支えるための施策の拡充を求めます。

高齢者人口は増加 施策の拡充こそ必要

来年度の杉並区の予算分析では、見守り配食サービス廃止や住宅改修助成等の予算減額による影響で、高齢者分野への都からの補助金が減額になっていることも明らかとなっています。

高齢者人口が増え、高齢者施策の拡充こそ求められているときに、区の姿勢は、高齢者福祉を後退させるものであり、拡充を求めました。

他区ではシルバーカーや補聴器にも助成 他区の先進施策 杉並区でも実施を提案

党区議団は、東京23区の高齢者施策に関する東京都補助金活用事例を調査・分析したところ、同じ補助金を活用した事業でも他区では、杉並区よりも多くのメニューで支援している実態が明らかとなりました。

例えば、目黒区や墨田区などでは高齢者が集まって食事する会食サービスを実施。新宿区や江東区などではシルバーカーの購入費助成や補聴器の支給を行っています。

質疑では、こうした取り組みを紹介し、杉並区でもメニューの拡充を求めました。

墨田区高齢者補聴器購入費助成事業

聴力機能の低下により友人や家族等とコミュニケーションがとりにくい高齢者に対し、補聴器（医療機器認定を受けたもの）の購入に要する費用を一部助成します。

申請のできる方 ※以下のすべての条件を満たす方

- (1) 区内に住所を有する満65歳以上で、住民税非課税の方
 - (2) 聴覚障害により補聴器（補聴器購入費）の支給を受けていない方
 - (3) 耳鼻いんこう科の医師から本事業の所定の基準を満たすと認められ、当該医師の意見書等を提出することができる方（※オージオグラム（純音聴力検査表）添付[3か月以内のもの]）
- 所定の基準：三分法にて両耳の聴力レベルが50dB以上または、一耳の聴力レベルが30dB以上かつ、他耳の聴力レベルが70dB以上の聴力が対象

区助成額
例 15,000の補聴器を購入 ⇒ 助成額 15,000円
45,000の補聴器を購入 ⇒ 助成額 20,000円（上限額）
上限20,000円



シルバーカー

育メン日誌

忙しくても、料理は癒し！

4月21日の杉並区議会議員選挙まで1カ月を切りました。毎日が目の回るような忙しさですが、時間の合間を見つけては、料理には励んでいます。愛用するクックパッドで覚えたレシピは400食を超えました！数年前までは考えられないことです（苦笑）。

我が家は共働きのため、私が料理を覚えて始めてから、妻の家事負担も激減しました。まさに、家庭円満の秘訣は料理です。クックパッド万歳！



ひな祭りではチラシ寿司作り

他区では高齢者補聴器購入費助成を実施。